

大阪府教育長 殿

学校法人 阪和学園  
理事長 藪本 雅巳

## 大学等における修学の支援に関する法律第 7 条第 1 項の確認に係る申請書

## ○申請者に関する情報

大学等の名称	錦秀会看護専門学校
大学等の種類 (いずれかに○を付すこと)	(大学・短期大学・高等専門学校・ <u>専門学校</u> )
大学等の所在地	大阪府河内長野市南花台 4 丁目 2 4 番 1 号
学長又は校長の氏名	古賀 義久
設置者の名称	学校法人 阪和学園
設置者の主たる事務所の所在地	大阪府河内長野市南花台 4 丁目 2 4 番 1 号
設置者の代表者の氏名	藪本 雅巳
申請書を公表する予定のホームページアドレス	<a href="https://www.hanwagakuen.ac.jp/shugakushien/">https://www.hanwagakuen.ac.jp/shugakushien/</a>

大学等における修学の支援に関する法律(以下「大学等修学支援法」という。)第 7 条第 1 項の確認を申請します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点(☑)を付けて下さい。

- この申請書(添付書類を含む。)の記載内容は、事実と相違ありません。
- 確認を受けた大学等は、大学等修学支援法に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知しています。
- 大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。
- この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があると同時に、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。
- 申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第 7 条第 2 項第 3 号及び第 4 号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	事務部・加賀田 淳	0721-21-9015	koukan.jimu@hanwagakuen.ac.jp
第2号の1	事務部・加賀田 淳	0721-21-9015	koukan.jimu@hanwagakuen.ac.jp
第2号の2	事務部・加賀田 淳	0721-21-9015	koukan.jimu@hanwagakuen.ac.jp
第2号の3	事務部・加賀田 淳	0721-21-9015	koukan.jimu@hanwagakuen.ac.jp
第2号の4	事務部・加賀田 淳	0721-21-9015	koukan.jimu@hanwagakuen.ac.jp

○添付書類

※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点 (☑) を付けた上で、これらの書類を添付してください。(設置者の法人類型ごとに添付する資料が異なることに注意してください。)

「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

- ☑ 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》
- ☑ 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》

「(2)-①学外者である理事の複数配置」関係

- ☑ 《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事（役員）名簿

「(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

- ☑ 客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料
- ☑ 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）【再掲】

その他

- ☑ 《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料
- ☑ 確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

(添付書類) 経営要件を満たすことを示す資料

学校名	錦秀会看護専門学校
設置者名	学校法人 阪和学園

I 直前3年度の決算の事業活動収支計算書における「経常収支差額」の状況

	経常収入(A)	経常支出(B)	差額(A)-(B)
申請前年度の決算	296,173,887 円	320,049,238 円	△23,875,351 円
申請2年度前の決算	159,092,161 円	277,431,741 円	△118,339,580 円
申請3年度前の決算	円	円	円

II 直前の決算の貸借対照表における「運用資産-外部負債」の状況

	運用資産(C)	外部負債(D)	差額(C)-(D)
申請前年度の決算	69,025,933 円	31,710,530 円	37,315,403 円

III 申請校の直近3年度の収容定員充足率の状況

	収容定員(E)	在学生等の数(F)	収容定員充足率 (F)/(E)
今年度(申請年度)	320 人	346 人	108%
前年度	280 人	309 人	110%
前々年度	240 人	247 人	102%

(IIの補足資料)「運用資産」又は「外部負債」として計上した勘定科目一覧

○「運用資産」に計上した勘定科目

勘定科目の 名称	資産の内容	申請前年度の決算に おける金額
現金預金	普通口座及び小口にて保有している 現金	69,025,933 円
		円
		円

○「外部負債」に計上した勘定科目

勘定科目の 名称	負債の内容	申請前年度の決算に おける金額
長期未払金	高速カラープリンター長期リース代 (1年以上のもの)	2,881,008 円
未払金	2019年度賞与引当金	28,829,522 円
		円

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	錦秀会看護専門学校
設置者名	学校法人 阪和学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
看護専門課程	看護第1学科	夜・通信	1,665	240	
	看護第2学科	夜・通信	1,890	240	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="https://www.hanwagakuen.ac.jp/shugakushien/">https://www.hanwagakuen.ac.jp/shugakushien/</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	錦秀会看護専門学校
設置者名	学校法人 阪和学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.hanwagakuen.ac.jp/shugakushien/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	医師（現職）	平成 29 年 3 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日	医師の立場から看護 教育の在り方へのチ ェック、助言。
非常勤	医師（現職）	平成 29 年 3 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日	医師の立場から看護 教育の在り方、また、 学校長経験者である ことから学校運営へ のチェック、助言。
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	錦秀会看護専門学校
設置者名	学校法人 阪和学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>「保健婦助産婦看護婦学校養成所指定規則」及び「看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン」に則り、毎年中間と期末にカリキュラムの見直しを行っている。その際、副学校長を中心に各学科長と協議し、以下の項目で現状のカリキュラムの内容をチェックし評価している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の到達目標と修業時間数</li> <li>・教科目標と内容、方法</li> <li>・教科外活動の種類と内容</li> <li>・成績結果</li> <li>・自己点検・自己評価</li> </ul> <p>以上のカリキュラム評価をもとに検討したうえで、授業計画(シラバス)の作成を行っている。シラバスはカリキュラムや科目ごとの目的をもとに各担当教員と相談の上、年度末に作成し、年度初めに学生、教員、講師等に冊子で配布している。また、2019年度のシラバスからHPで公表を行っている。</p>	
授業計画書の公表方法	<a href="https://www.hanwagakuen.ac.jp/shugakushien/">https://www.hanwagakuen.ac.jp/shugakushien/</a>
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>終講試験結果、授業態度、演習評価、レポート内容評価、グループワークへの参加状況、課題提出状況等々を科目ごとに複合的に評価する。また、学生に対して、評価の方法を科目ごとにシラバスで公表している。</p> <p>各科目2/3以上の出席且つ上記評価点が60点以上の者へ所定の単位を与える。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価は、時間の取得状況と当該科目の評価（試験、学習状況、学習報告等）によって行い、以下の方法で行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間の取得状況とは、各科目の3分の2以上の出席時間</li> <li>・試験とは、筆記試験、口述、論文及び実技試験等</li> <li>・学習状況とは、演習、実技、学習記録の整理状況等</li> <li>・学習報告とは、講師の指示する質問、課題に対する報告</li> </ul> <p>授業科目の成績評価はすべてにおいて100点満点で算出し、80点以上を「優」、70点以上80点未満を「良」、60点以上70点未満を「可」、及び60点未満を「不可」とし、「可」以上を合格としている。成績表は4月上旬から中旬に、卒業時は2月下旬に全学生に手渡ししている。</p> <p>また、成績の分布状況は学年ごとに授業科目の得点（素点）の平均値を算出することによって把握し、各学生の順位付けを行っている。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p><a href="https://www.hanwagakuen.ac.jp/shugakushien/">https://www.hanwagakuen.ac.jp/shugakushien/</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>履修終了は卒業時の履修・卒業判定会議において判定を行い、学校運営会議の議を経て学校長が認定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校長は、出席した日数が出席すべき日数の3分の2以上を満たしている者で、履修・卒業判定会議において、本校学則に定める授業科目の単位修得の判定を受けた者に対し、学校運営会議の議を経て卒業の認定を行い、卒業証書を授与する。出席すべき日数とは、授業時間を満たす日数をいう。</li> <li>2. 卒業を許可された者には、専門士の称号（医療専門課程）を授与する。</li> </ol>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p><a href="https://www.hanwagakuen.ac.jp/shugakushien/">https://www.hanwagakuen.ac.jp/shugakushien/</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	錦秀会看護専門学校
設置者名	学校法人 阪和学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.hanwagakuen.ac.jp/koukai/">https://www.hanwagakuen.ac.jp/koukai/</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.hanwagakuen.ac.jp/koukai/">https://www.hanwagakuen.ac.jp/koukai/</a>
財産目録	<a href="https://www.hanwagakuen.ac.jp/koukai/">https://www.hanwagakuen.ac.jp/koukai/</a>
事業報告書	<a href="https://www.hanwagakuen.ac.jp/koukai/">https://www.hanwagakuen.ac.jp/koukai/</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://www.hanwagakuen.ac.jp/koukai/">https://www.hanwagakuen.ac.jp/koukai/</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
看護		専門課程	看護第1学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,015 時間	1125 時間	735 時間	1155 時間	0 時間	0 時間
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		90人	0人	8人	41人	49人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>「保健婦助産婦看護婦学校養成所指定規則」及び「看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン」に則り、毎年中間と期末にカリキュラムの見直しを行っている。その際、副学校長を中心に各学科長と協議し、以下の項目で現状のカリキュラムを評価している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の到達目標と修業時間数</li> <li>・教科目標と内容、方法</li> <li>・教科外活動の種類と内容</li> <li>・成績結果</li> <li>・自己点検・自己評価</li> </ul> <p>以上のカリキュラム評価をもとに検討したうえで、授業計画（シラバス）の作成を行っている。シラバスはカリキュラムや科目ごとの目的をもとに各担当教員と相談の上、年度末に作成し、年度初めに学生、教員、講師等に冊子で配布している。また、2019年度のシラバスからHPで公表を行っている。</p>



<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>成績評価は、時間の取得状況と当該科目の評価（試験、学習状況、学習報告等）によって行い、以下の方法で行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間の取得状況とは、各科目の3分の2以上の出席時間</li> <li>・試験とは、筆記試験、口述、論文及び実技試験等</li> <li>・学習状況とは、演習、実技、学習記録の整理状況等</li> <li>・学習報告とは、講師の指示する質問、課題に対する報告</li> </ul> <p>授業科目の成績評価は、80点以上を「優」、70点以上80点未満を「良」、60点以上70点未満を「可」、及び60点未満を「不可」とし、「可」以上を合格としている。成績表は4月上旬から中旬に、卒業時は2月下旬に全学生に手渡ししている。また、成績の分布状況は学年ごとに授業科目の得点（素点）の平均値を算出することによって把握し、各学生の順位付けを行っている。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>履修終了は卒業時の履修・卒業判定会議において判定を行い、学校運営会議の議を経て学校長が認定する。</p> <p>(1) 看護専門課程</p> <p>1. 学校長は、出席した日数が出席すべき日数の3分の2以上を満たしている者で、履修・卒業判定会議において、本校学則に定める授業科目の単位修得の判定を受けた者に対し、学校運営会議の議を経て卒業の認定を行い、卒業証書を授与する。出席すべき日数とは、授業時間を満たす日数をいう。</p> <p>2. 卒業を許可された者には、専門士の称号（医療専門課程）を授与する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>1 クラス 40 名定員に対して主担当、副担当を置き、各学生の成績だけでなく、日々の学修状況（出席率、授業態度等）を確認し、必要に応じて個別指導を行っている。実習指導においては、4～6 名に対して1名の教員を配置し、臨床指導者と連携のうえ、個別の指導を実施している。また、学校生活や進路、学習、人間関係等に関して悩みを持つ学生に対して「こころの相談室」を設置し、学生がいつでも相談できる体制を整えている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (100%)	0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果(資格・検定等))			

(備考) (任意記載事項)  
2018年開設のため、まだ卒業者はおりません。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
49人	46人	6.1%
(中途退学の主な理由) 進路の変更によるもの		
(中退防止・中退者支援のための取組) 40名のクラスに対して担任、副担任を置き、学生の状況や行動を早期に把握、対応できる体制としている。学業成績や受講態度、出欠状況は常に把握し、不良者に対しては個別面談を実施すると共に、学校運営会議においてその状況を報告し、学校長をはじめとする学校運営幹部で情報共有している。また、学校生活や人間関係、進路等に対して悩みを抱える学生のために「こころの相談室」を設置し、相談できる体制を作っている。		

②学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
看護		専門課程	看護第2学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,190 時間	960 時間	510 時間	720 時間	0 時間	0 時間
	単位時間/単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		124人	0人	10人	55人	65人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 「保健婦助産婦看護婦学校養成所指定規則」及び「看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン」に則り、毎年中間と期末にカリキュラムの見直しを行っている。その際、副学校長を中心に各学科長と協議し、以下の項目で現状のカリキュラムを評価している。 ・各学年の到達目標と修業時間数 ・教科目標と内容、方法 ・教科外活動の種類と内容 ・成績結果 ・自己点検・自己評価 以上のカリキュラム評価をもとに検討したうえで、授業計画(シラバス)の作成を行っている。シラバスはカリキュラムや科目ごとの目的をもとに各担当教員と相談の上、年度末に作成し、年度初めに学生、教員、講師等に冊子で配布している。また、2019年度のシラバスからHPで公表を行っている。

<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>成績評価は、時間の取得状況と当該科目の評価（試験、学習状況、学習報告等）によって行い、以下の方法で行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間の取得状況とは、各科目の3分の2以上の出席時間</li> <li>・試験とは、筆記試験、口述、論文及び実技試験等</li> <li>・学習状況とは、演習、実技、学習記録の整理状況等</li> <li>・学習報告とは、講師の指示する質問、課題に対する報告</li> </ul> <p>授業科目の成績評価は、80点以上を「優」、70点以上80点未満を「良」、60点以上70点未満を「可」、及び60点未満を「不可」とし、「可」以上を合格としている。成績表は4月上旬から中旬に、卒業時は2月下旬に全学生に手渡ししている。また、成績の分布状況は学年ごとに授業科目の得点（素点）の平均値を算出することによって把握し、各学生の順位付けを行っている。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>履修終了は卒業時の履修・卒業判定会議において判定を行い、学校運営会議の議を経て学校長が認定する。</p> <p>(1) 看護専門課程</p> <p>1. 学校長は、出席した日数が出席すべき日数の3分の2以上を満たしている者で、履修・卒業判定会議において、本校学則に定める授業科目の単位修得の判定を受けた者に対し、学校運営会議の議を経て卒業の認定を行い、卒業証書を授与する。出席すべき日数とは、授業時間を満たす日数をいう。</p> <p>2. 卒業を許可された者には、専門士の称号（医療専門課程）を授与する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>1 クラス 40 名定員に対して主担当、副担当を置き、各学生の成績だけでなく、日々の学修状況（出席率、授業態度等）を確認し、必要に応じて個別指導を行っている。実習指導においては、4～6 名に対して1名の教員を配置し、臨床指導者と連携のうえ、個別の指導を実施している。また、学校生活や進路、学習、人間関係等に関して悩みを持つ学生に対して「こころの相談室」を設置し、学生がいつでも相談できる体制を整えている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
40 人 (100%)	0 人 ( 0%)	38 人 ( 95%)	2 人 ( 5%)
(主な就職、業界等)			
医療業界（病院、クリニック等）			
(就職指導内容)			
グループの医療法人錦秀会からの奨学金制度を利用している学生に関しては、100%医療法人錦秀会へ就職し、病院や社会福祉施設等への配属となる。また、そうではない学生に対しては、個々人の希望（医療分野等）を担当、副担任が確認し、個別面談を行いながら就職サポートを行っている。			

(主な学修成果 (資格・検定等) ) 看護師国家試験 40 名受験、40 名合格 (合格率 100%)
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
131 人	8 人	6.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更によるもの。		
(中退防止・中退者支援のための取組)  40名のクラスに対して担任、副担任を置き、学生の状況や行動を早期に把握、対応できる体制としている。学業成績や受講態度、出欠状況は常に把握し、不良者に対しては個別面談を実施すると共に、学校運営会議においてその状況を報告し、学校長をはじめとする学校運営幹部で情報共有している。また、学校生活や人間関係、進路等に対して悩みを抱える学生のために「こころの相談室」を設置し、相談できる体制を作っている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護 第1学科	400,000円	600,000円	400,000円	初年度学納金
看護 第2学科	400,000円	360,000円	270,000円	初年度学納金
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
グループの医療法人錦秀会からの奨学金制度あり。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.hanwagakuen.ac.jp/koukai/">https://www.hanwagakuen.ac.jp/koukai/</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>本校の自己評価結果を客観的に検証する仕組みとして「学校関係者評価」を2020年度から実施し、その内容を公表する。</p> <p>○ 実施方法・体制等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的 自己評価結果の客観性・透明性を高め、本校と密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図る。</li> <li>・ 実施方法 本校の自己評価委員会を中心に全教職員が参加し、組織的に自己評価を実施し、その結果、改善内容を纏める。また、「学校関係者評価委員会」を立ち上げ、前述の自己評価結果の内容の検証を行い、委員会より改善意見・助言を提示する。</li> <li>・ 実施体制 本校と直接関係のある下記の者から評価者を選任する。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療、福祉業界関係者</li> <li>2. 卒業生</li> <li>3. 保護者・地域住民</li> </ol> </li> </ul> <p>○ 主な評価項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育課程、教育指導の在り方</li> <li>・ 実習指導体制</li> <li>・ 組織管理・運営</li> <li>・ 学生生活支援 等</li> </ul>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
2020年度から評価を確実に実施するために委員の選任を行う。		

学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2020年度から評価を確実に実施・公表する。		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.hanwagakuen.ac.jp/">https://www.hanwagakuen.ac.jp/</a>
--